

あるある Q & A

Q1. 入院期間はどのくらい必要ですか？

A1.

関節鏡手術の場合、絶対に入院しておいて欲しいのは（術後合併症の発症がなければ）術後5-7日程度（肩肘関節）、術後7-10日程度（膝足関節）、術後10～14日程度（前十字靭帯再建術）です。

ただし、①自宅での生活が送れること、②通院ができることが条件となります。従って、自宅の環境（階段、ベッド、トイレ、風呂など）、生活をサポートしてくれる人がいるか、自宅から病院までの距離、通院の手段（電車やバスなどの公共交通機関、自家用車など）によって上記の入院期間よりそれぞれ長くなります。

なお、当院での入院日数の上限は2ヶ月になります。

Q2. 完治するまでにどのくらいの時間がかかりますか？

A2.

日常生活が問題なく送ることができれば良いという人と、仕事で重いものを抱えて動き回る必要がある人では治療にかかる時間は大きく異なります。また子供と遊び程度で軽くスポーツができれば良いという人と、スポーツチームのレギュラーで活躍したいと考えている人では治療のハードルが大きく異なるので、かかる時間が違います。

術前にリハビリ担当者と治療のゴール設定について話をすることになると思います。設定したゴールがあなたの「完治」となります。それぞれ自分の「完治」を理解した上で治療期間について目標を設定しましょう。

ただし、設定する治療期間は「目標」治療期間です。リハビリに来ない、リハビリ担当者から出された宿題エクササイズを行わない、医師が許可していない動作や強い負荷を自己判断でかけるなどあれば目標期間に「完治」することは不可能です。特に許可していない動作や強い負荷を自己判断でかけることは、手術のやり直しが必要になることが少なからずあるので当然厳禁です。

芦屋中央病院整形外科 迫田真輔